

**製品名: CDX2 (12N2) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe08593**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IF-P
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.33mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:200-1:1000,IF-P 1:200-1:1000
分子量	34kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CDX2
別名	caudal type homeo box transcription factor 2; Homeobox protein CDX-2; Caudal-type homeobox protein 2; CDX3
遺伝子 ID	1045.0
SwissProt ID	Q99626
免疫原	ヒト CDX2 の合成ペプチド

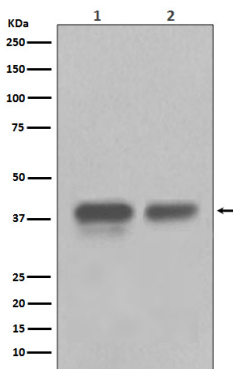
## 背景

腸管上皮で発現する複数の遺伝子の転写調節に関与する。小腸および大腸の腸管上皮内層の初期分化から維持まで、幅広い機能に重要である。腸管上皮で発現する複数の遺伝子の転写を調節する転写因子（類似性による）。腸管スクラーゼイソマルターゼ SI のプロモーターに結合し、SI の転写を活性化する（類似性による）。VDR のプロモーター領域の DNA 配列 5'-ATAAAACTTAT-3' に結合し、VDR の転写を活性化する（類似性による）。LPH に結合し、転写を活性化する（類似性による）。CLDN2 および腸管ムチン MUC2 の転写を活性化する（類似性による）。CA1 のプロモーター領域にある 5'-AATTTTTTACAACACCT-3' DNA 配列に結合し、CA1 の転写を活性化する（類似性による）。小腸および大腸の腸管上皮層の初期分化から維持まで、幅広い機能において重要である。メチル化 DNA に優先的に結合する (PubMed:28473536)。

## 研究分野

幹細胞

## 画像データ



(1) HEK293 細胞溶解物、(2) 大腸癌溶解物中の CDX2 のウエスタンブロット解析。